

2021年12月1日
株式会社エーディテクノ

グリーン購入に関する方針

現在の大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会システムとそこから産み出される製品やサービス（以下、製品）は、私たちに物質的に豊かで便利な生活をもたらしたが、一方で、地球温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化、生態系の破壊、資源の枯渇、大気・水・土壌の汚染、増大する廃棄物など深刻な環境問題を引き起こしており、使い捨て型の社会や製品のあり方を根本から見直し、持続可能な循環型社会を構築していくことが必要となっている。

当社は、グリーン購入、すなわち必要性を十分に考えた購入を心掛け、環境に与える負荷ができるだけ小さい製品の優先的購入が、持続可能な社会の構築に資する極めて有効な手段であるという認識のもとに、事業活動および社員の生活の中で積極的にグリーン購入に取り組むこととする。

<取り組みの内容>

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先的に購入する。

- (1) 必要性の考慮（購入量の削減）
- (2) 製品やサービスのライフサイクルの考慮
 - ・ 環境汚染物質等の削減
 - ・ 省資源、省エネルギー
 - ・ 天然資源の持続可能な利用
 - ・ 長期使用性
 - ・ リサイクル可能性
 - ・ 再生材料等の利用
 - ・ 処理、処分の容易性
- (3) 事業者の取り組みの考慮
 - ・ 環境マネジメントシステムの導入
 - ・ 環境への取り組み内容
 - ・ 環境情報の公開
- (4) 環境情報の入手、活用

<対象とする購入分野>

- ・ 事務所等で使用する一般品（用紙、文具、情報機器類、車両含む）
- ・ 事業用の部品、原材料等（包装材含む）
- ・ サービス等（輸送、その他の役務）

<購入の判断のしかた>

公的な環境ラベルを活用する。必要に応じ、製品やサービスのライフサイクルおよび事業者の取り組みを考慮した当社独自の選択基準（または選択リスト）を設ける。

<取り組みの範囲>

本社および大阪支店

<手順>

グリーン購入を推進する部署と購入の実務を行う部署が協力して取り組みの企画および管理をおこなう。必要に応じ、各部署の代表を集めた連絡会等を設ける。

<見直し>

毎年度、グリーン購入の実績をとりまとめ、購入分野や手順、その他の実施内容を見直し、改善に努める。

<その他>

- ・ コストについては、基本 15%程度の増加であればグリーン購入を優先することとする。
- ・ この方針は適宜見直しをおこなう。